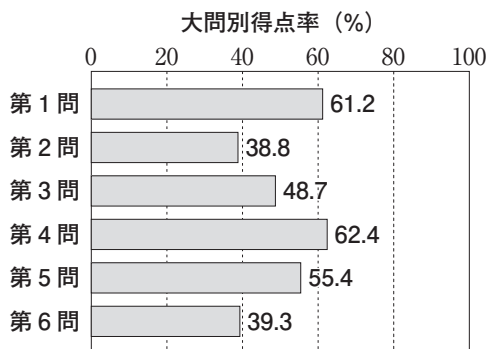
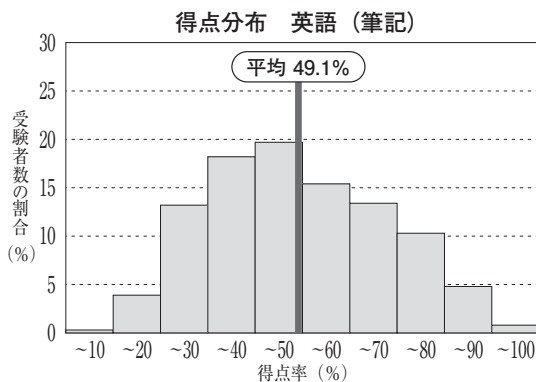


## 英語 (筆記)

## 語彙・文法と構文力の早期完成に取り組もう。

## I. 全体講評

今回の高2レベルマーク模試(筆記)の平均点は、98.1点(49.1%)であった。この模試は、第1問・第2問は語彙・文法・語法を中心とした基礎学力を測る問題、第3問～第6問は、実際のセンター試験に近いレベルの読解問題となっている。今回の大問別の結果を見ると、第2問の文法・語法問題の得点率が38.8%で最も低く、現時点では、まだ文法・語法の未習事項が残っている受験者も多いことがうかがえる。今回の模試を通じて、まずは当面の目標となるレベルを見定め、語彙と未習事項の早期完成に向けて、計画的な学習に取り組んでいこう。



## II. 大問別分析

## 第1問 A, B 発音・アクセント

正しく発音しながら語彙力をつけていこう。

第1問 A, Bは、基本的な発音・アクセントの定着度を確かめる問題である。Aの問1は正答率が28.9%と低かったが、その他はいずれも60%以上の正答率でまずまずの出来であった。問1の正解である *treaty* [ˈtri:ti] は「条約」という意味の名詞で、*a peace treaty* (平和条約) で覚えておこう。単語を覚える際には、必ず声に出して正しい発音・アクセントを身につけるようにしよう。

## 第1問 C 語彙 [単語・熟語]

日頃から語彙力強化に努めよう。

単語・熟語は英語学習の基本である。単語・熟語は繰り返し学習することで確実に身につくので、基本的な語彙の学習はできるだけ早期に一巡させて繰り返そう。第1問Cに出てくる単語・熟語は、いずれも今のうちにしっかりと身につけてほしいものばかりである。比較的正答率が低かったのは、*tidy* (きちんとした)、*attitude* (態度)、*go wrong* (うまくいかない)、*by nature* (本来、生来)、*inform A of B* (AにBを知らせる)、*break into ~* (~に押し入る)、*appeal to ~* (~に訴えかける) などであった。自分が分からなかった語句は、例文中で使い方とともに覚えよう。

## 第2問 文法・語法・構文

基本的な文法・語法を確実に身につけよう。

第2問は文法・語法・構文の基礎知識を問う問題だが、これらは実際に英語を運用するための基本ルールである。できなかった問題はよく理解して確実に身につけよう。Aで正答率が低かったのは、問1、問2、問4、問7で、いずれも文として成立しない選択肢を選んだ誤りが多く、品詞を考えて文を正しく組み立てることができない者が多いことがうかがえる。そのことはBの整序作文問題で、問1、問2、問4の正答率が30%以下ということからも

うかがえる。ここで得点が低い人は、まず基本的な文法をしっかり身につけよう。

### 第3問 読解問題 (段落完成)

文章を論理的に読み解く力をつけよう。

第3問は、説明文の読み方、あるいは英語の文章の書き方の基本を理解しているかを問う問題である。Aは文と文の論理的なつながりを考えて適切なつなぎ語句を選ぶ問題。Bは段落のテーマを考え、協道にそれるような不要文を削除する問題。Cは各段落の要旨を把握し、それぞれの段落に欠けている1文を補い、3段落からなる文章を完成させる問題。いずれも「文章の組み立て」に関する理解が問われている。

“one paragraph, one idea” (1つの段落は1つのアイデア) という原則や、文と文のつながり (例示・言い換え、逆接・対比、因果など) を明確に意識しながら読み書きする力を身につけていこう。

### 第4問 読解問題 (図表・広告)

設問文を読み、必要な情報をすばやく拾う。

第4問では必要な情報をすばやく処理する力が問われている。過去のセンター試験の広告文では、医療機関の説明文書、フライト・スケジュール、英字新聞の広告、野球試合の広告、写真館の広告、マラソン大会参加申込要項、キャンプ場の案内、美術館の案内、ビデオクリップの作品募集、料理教室の広告など、身近で実用的な題材が扱われている。英語の説明文書や図表の中の必要な情報を正しく見極める力が問われており、冒頭から順に読んでいくのではなく、見出し等からどこにどのような情報が掲載されているのか見当をつけ、設問の解答に必要な情報をすばやく読み取ることが求められる。

### 第5問 読解問題 (意味推測・情報整理)

情報を総合して適切に内容判断しよう。

第5問も応用力を試す問題で、Aでは文脈から未知の語句の意味を適切に推測する力、Bでは人物・出来事・場面展開などを整理しながら物語文を適切に読む力が問われている。

### 第6問 長文読解問題

論理的な流れ・構造を正確につかもう。

第6問のような長めの説明文を読む際には、第3

問で述べた着眼点に加えて、段落相互のつながりについて意識することが重要となる。文章を読んで途中で何が書いてあるのか分からなくなってしまう人や、途中で前に何が書いてあったか忘れてしまう人は、段落ごとの要点を簡単にメモしながら、接続語句などに注意して段落相互の関係を意識して読むことを心がけよう。そして「テーマ→具体化→まとめ」といった文章全体の構成を頭の中に描きながら読み進められるようにしていこう。

## Ⅲ. 学習アドバイス

### ◆単語・熟語の学習

センター試験レベルの単語・熟語の学習を早急に終わらせるようにしましょう。『英単語センター1800』や『英熟語センター750』などの単語集・熟語集をできるだけ早く一巡し、定期的に繰り返し確認を行うこと。なお、単語を覚えるときには必ず声に出して発音やアクセントも身につけていくことが大切である。

### ◆文法の学習

文法の未習事項が残っている人は、それをできるだけ早く学習し終えることが最優先の課題となる。基本的な文法事項の学習を一通り終えて、早く全体像を俯瞰できるようにしよう。

### ◆構文の学習

文法学習を一通り終えた人は、長文読解の学習に入る前に文構造の学習を行うことをおすすめする。基本的な構文を扱う教材を使い、文法の復習をかねて基本構文をマスターしていこう。

### ◆読解の学習

高2生までは、しっかりと英語の基礎学力をつけることに主眼を置いて学習してほしい。そのためのもっとも効果的な学習方法は音読である。音読を繰り返すことで、英文の流れやリズムが身体にしみこみ、すべての土台となる英語力が養われていく。こうした学習を習慣化しよう。